



雄飛

すべての
学校生活で
感動・感謝・笑顔

古河第三中学校 学校だより 第4号 2021/09/7発行
茨城県古河市下山町9-5 TEL 0280-32-6711 FAX 0280-32-6712

第2学期のスタートです

8月に入り、全国的に新型コロナウイルスによる感染者が増加しています。私たちが生活している茨城県や古河市においても感染が拡大し「緊急(非常)事態宣言」が9月12日まで発令されています。9/2、3の分散登校や9/6～10のオンライン授業も新型コロナウイルスへの感染リスクを少なくし、皆さんの安全を確保するための措置です。

7月20日の終業式には、「9月1日には、42日間の夏休みを終えた皆さんと会える日を楽しみにしています。」と話をしましたが、分散登校となりとても残念に思います。このことは、校長先生だけでなく、担任の先生をはじめ古河三中の先生方全員が同じ気持ちです。夏休みを終えて校長先生がうれしかったことが3つあります。

1つ目は生徒の皆さんが交通事故に遭ったり、事件・事故に巻き込まれなかったことです。安全安心な生活を送るためにこれからも「自分の命は自分で守る」を心がけ生活して下さい。

2つ目は部活動です。「男子テニス部」「男女バドミントン部」「水泳部」の皆さんが県大会に出場しました。吹奏楽部の皆さんは、茨城県県西地区吹奏楽コンクールに出場し、野球部の皆さんは、北関東野球大会に出場しました。どの部活動の生徒も暑さに負けることなく、感謝の気持ちを胸に、堂々と自分の役割を發揮しました。そして、生徒の皆さんからたくさんの感動をいただきました。

特に、「水泳部」の皆さんの県総体女子団体優勝、関東大会(男子)出場、全国大会(女子)出場は、古河三中の新しい伝統を築きました。全国大会では、400mフリーレー(中澤桃菜さん・小川芽吹さん・武田蒼依さん・中澤心暖さん)全国8位、中澤心暖さんの200m平泳ぎ全国6位、100m平泳ぎ全国5位という素晴らしい結果を残しました。

3つ目は夏休み中に行われた夏季セミナー、三者面談、部活動、清掃・灌水当番、高校説明会・職場見学などに多くの生徒が参加したことです。途中で中止になってしまったものもありますが、自分のこととして真剣に参加している姿が多くの場面で見ることができました。

さまざまな参加経験・体験を通して得たことを貴重な財産として、これからもいろいろなことに挑戦していきましょう。

夏休みの42日間、コロナ禍の中、行動が制限されたり行きたい所にも行けなく、部活動は活動禁止となり悔しい思いをしている人がほとんどだと思います。でも、9月になり2学期が始まったらみんなに会える、みんなと勉強ができる、みんなと学校行事に取り組める、また、新人戦に向けて思い切って部活動ができると楽しみにしていた人も多かったことと思います。しかし、9月10日まではPC上での学習交流(オンライン授業)となります。このような状況の中でも時が過ぎ、半年後には新しい学年がスタートします。どのような状況になろうとも、学習や生活の目標をしっかりと立て、常に目標に向かって1日1日を大切に過ごして下さい。平等に与えられた1日24時間、日々の取り組みが自分自身を成長させ、充実した中学校生活となります。そして日々の努力が進路実現につながることを願っています。

引き続き、自宅での感染症対策をはじめ、不要不急の外出をしない、マスクの着用と手洗いをこまめに行うなどの感染症対策の徹底に心がけて下さい。感染症対策は、自分を守ることと家族をはじめ周りの人を守ることに繋がります。そのためにも、一人ひとりが真剣に感染症対策に取り組むことが大切です。その結果、感染者が減少し、安心して日々の生活が送れるようになることが、通常通りの学校生活に戻る近道です。

生徒の皆さん、下を向くことなく前を向いてこの危機をみんなで乗り越えましょう。

9/2・3 分散登校 (2日:1・3組 3日:2・4組)



9/6～10 オンライン授業 (6日の様子)

